

【本社所在地】蘇州工業園区東旺路18号

【設立】1994年

【資本金】5000万

【従業員数】4000人

【主要製品】各種電動工具の研究、開発、販売



## ITグローバル化戦略を浸透し、IT技術による生産管理レベルアップのため、Asprova導入を促進した

設立から20年を経て、宝時得が中国蘇州に本社を構え、電動工具の研究、開発、販売を行ってきた。世界各地に13か所の営業子会社、3つの研究開発センター、2か所の製造拠点を持っている。世界中100以上の国や地域に導入実績を持ち、グローバル企業になり続けている。宝時得は2012年10月に、全社と期待を含めて、Asprova導入プロジェクトを始めた。

◆Asprovaの高速スケジューリングで設備能力や材料在庫、ラインネックの可視化により、迅速な計画調整し、正確に納期回答できた

◆計画作成の属人化を解消し、手動計画から自動計画に変更により、計画精度の向上&効率化を実現した

◆全体最適により、リードタイム短縮や在庫削減を実現した

◆JDA→SAP→APS→サプライヤの周辺システムとの連携により、システム間情報共有を実現した

◆生産ラインの可視化により、生産効率向上につながり、現場のカイゼンをサポートし、生産管理レベルアップを実現した

### ■宝時得Asprovaプロジェクトの範囲

- |                             |                           |
|-----------------------------|---------------------------|
| 1 組立工場：組立ライン、22か所のワークセンター   | 2 モーター工場：モータ関連のケーブル製造     |
| 3 加工工場：鋳造、機械加工、メッキ、熱処理、外注関連 | 4 成型工場：射出成型、コーティング、アニーリング |

### ■プロジェクトスコープ

プロジェクトが始まった当初、宝時得が導入パートナーの拓昌と検討し、プロジェクトのスコープを明白に決めました。2012年10月から2013年5月までのプロジェクト期間中、その方針に従い、プロジェクトをうまく推進できた。

- ◆プロジェクト管理体制に沿い、プロジェクトチームを作成
- ◆ステップのゴール目標を設定し、段階的に導入を進めた
- ◆毎週の報告会にて、プロジェクトの調整まとめを行った
- ◆上層部に2週間に1度報告し、課題解決などに相談を乗った
- ◆3段階に分け、プロジェクトを推進し、ずれが発生する際に随時調整してきた

### 宝時得Asprova導入概要

#### 1 マスタデータの管理(工程、治具、製造能力など)

- ◆計画精度粒度 / 総組生産ライン / NC加工前工程、塗装、後工程 / 金属加工 / 射出成型
- ◆同一製品は2ラインで製造可能 ◆工程、設備、作業員を考慮した計画
- ◆段取り時間 / 総組30M / NC加工30M / 金属加工や射出成型は品目により変更する

#### 2 バックワードで計画

- ◆納期を基準にバックワードで計画作成 ◆工程間がプル型生産に従い、工程間を連動する
- ◆製造能力を考慮した実現可能で生産計立案
- ◆AsprovaとSAPを連携し、生産計画とMRP計画を連携し、マニュアル操作を減らす
- ◆Asprovaで作成した計画表示を総組と一致する ◆実績情報と連携し、進捗管理を実現

### 上海拓昌会社概要

【会社名】上海拓昌信息技术有限公司 【設立】2003年11月18日

【所在地】上海市浦东新区耀華路215号商務広場6幢405室

【事業内容】①生産計画業務のコンサル、導入サポート全般 ②生産スケジューラAsprovaの導入サポート  
③MESシステムの導入サポート ④受託開発やカスタマイズ  
中国でいち早く生産スケジューラを取り扱う会社の一つとして、豊富な導入 経験を持っている。

### ■AsprovaとSAPの連携

Asprovaは既存の基幹システムSAPを中間データベース経由で連携して、SAP側のデータを極力利用し、Asprova側のデータメンテナンス量を減らした。スケジューリング結果をSAPにフィードバックして、ASP側のオーダ開始時間の精度を向上し、サプライヤへの所要量計画の根拠になる。

### ■Asprovaで会社の管理レベルアップに貢献

- ◆マスタデータの標準管理を実現
- ◆設備や作業員の可視化管理を実現
- ◆効率生産、コストダウンを実現
- ◆納期順守率を向上
- ◆立案を効率化し、進捗管理を実現
- ◆実績情報と連携し、現場の業務改善に反映
- ◆工程の一括管理を実現
- ◆在庫削減、効率生産にサポート。

### ■プロジェクト立上のポイント

- ◆プロジェクトリーダーが生産計画業務の課題に対する知識や理解が必要
- ◆システム側がプロジェクトへのサポート
- ◆会社全体がプロジェクトを成功させる決意
- ◆Asprovaや現地導入サポート会社上海拓昌様の技術支援

プロジェクトチームが今回のプロジェクトを成功させる決意を持ち、全社、メーカーと現地パートナーの協力を得て、今回のプロジェクトがうまく立ち上げることに至った。

### ■システム導入効果

プロジェクトキックオフから6ヶ月を立て、カットオーバーして、以下の導入効果があった。

- ◆マスタデータ(カレンダー、シフト、工数情報、治具、材料、オーダなど)の標準管理を実現
- ◆設備と人員の可視化管理を実現(資源ガントチャート、オーダガントチャート、負荷グラフなど)
- ◆生産ライン、設備、治具、作業員を考慮した有限能力生産計画を立案できる
- ◆工程間がプル型で連動して計画し、工程全体の計画立案を実現
- ◆資源稼働率を向上し、コストを約**498万円**を抑えた
- ◆納期順守率が**92%**に上がった
- ◆計画作成は従来のExcel作成で4時間を自動計画**5分**に短縮した。特急オーダ対応や納期回答を実現
- ◆計画調整は従来の5時間から**20分**にかわった
- ◆実績情報と連携し、進捗管理を実現 ◆人件費を抑え、**3.2人分/年**を抑えた
- ◆AsprovaとSAPの連携により、情報管理をスムーズになった
- ◆企業全体の管理レベルアップ

